



翁島小学校だより

第3号 H30. 5. 8発行 文責：校長 星 善樹

◎ 思いやりの花を大きく開いて ～1年生を迎える会を盛大に実施～

「校長先生、私は、心の中に思いやりの花を咲かせて、みんなと仲良くしています。」ある1年生の子が、帰りのあいさつに校長室を訪れた時に話してくれました。私が入学式の式辞で話した事をしっかり覚えてくれていたのです。4月から1ヶ月、この子だけでなく、1年生みんなの心の中に思いやりの花が咲いているなあと感じています。上学年には、入学式の式辞で、「心に咲いている思いやりの花を大きく開いて、1年生の面倒を見て下さい。」と話をしました。1年生の面倒をみて通学する姿、朝、登校すると1年生教室に行き準備を手伝う姿など思いやりの花を大きく開いている姿が多く見られ、本当に嬉しく思っています。そんな中、4月25日(水)児童会主催の「1年生を迎える会」が開かれました。上学年が風船で美しく飾った入場門をやはり上学年に手を引かれながら1年生は一人一人入場しました。(一人一人が主役です。)全校生でゲームを楽しみ、1年生は、手作りのプレゼントを上学年からいただきました。そして最後には、1年生もしっかり上学年にお礼を言い、また、自己紹介をし「よろしくお願いします。」とあいさつしました。子ども達は勿論のこと周りで見ている先生方も笑顔満開でした。思いやりの花が全開の「1年生を迎える会」になりました。



ジャンケン列車
上級生とジャンケン勝負！！

◎ 環境省のパフレットに水環境学習の様子が掲載されました



環境省「東北地方環境事務所」の「東北地方の生物多様性」のパフレットに翁島小学校の活動実践が掲載されました。

猪苗代湖の水環境学習

○猪苗代町立翁島小学校

●活動紹介

磐梯朝日国立公園に位置する猪苗代湖は、日本で4番目に広い風光明媚な湖です。この猪苗代湖に於いて翁島小学校では、平成13(2001)年度より水環境学習を進めています。

具体的には、猪苗代湖や流入河川の水質や生物の調査を行うとともに、水質を改善するための活動として、湖岸清掃、アサザの保全、ヒシの回収、湖岸のヨシ刈り等を行っています。また、水環境学習の成果を発信することにより、水質改善の呼びかけを行っています。



◎ 翁島地区の文化財

学校周辺には、その場所の歴史的な背景を説明する看板がいくつか建っています。
子供たちには、全校集会等で知らせたいと思っています。

○ ハ幡神社(はちまんじんじゃ)

ハ幡神社は、三城潟コミュニティーセンターの西側にあります。そこに建つ看板には、以下のように記載されています。

.....

三城潟(さんじょうがた)村の鎮守さまです。清作(野口博士の幼名)の通う学校から近いこともあり、村の子供達の遊び場になっていました。大正4年(1915)に帰国した時、村の人達はここに集まり、翁島駅から来た英世を出迎えました。その時に英世は境内に献木をしました。また、大正6年(1917)英世が腸チフスで危篤状態になったとき、村の人たちはここに集まり、平癒を祈願しました。大正10年(1921)に建立された三城潟耕地整理碑に英世が揮毫し小林先生が撰文、ただ一つの子弟合作となっています。

(野口英世博士生誕のふるさとづくり推進委員会)

.....



写真①;ハ幡神社の参道 写真②;博士の献木の碑 写真③;博士と小林の合作の耕地整理の碑
写真④;ハ幡神社と野口博士の関係が書かれた看板

○ 野口英世博士の講演が行われた翁島尋常高等小学校跡

校庭の南側には、野口英世博士が帰郷した際に翁島小学校の前身である翁島尋常高等小学校で講演を行ったことが書かれています。その時英世が残した言葉「目的・正直・忍耐」は、現在も本校の教育目標の根本となっています。以下、看板の内容。

.....

野口英世博士の想いで

帰郷したとき英世が講演した翁島尋常小学校跡

清作が通っていた三ツ和小学校は、旧会津藩の郷倉を改築したもので、ここから少し離れたところにありました。その校舎が狭くなりましたので、この地に明治25年8月に新築、その後翁島尋常高等小学校に改称しました。大正4年(1915)9月8日に帰郷したとき村の人達はこの校舎に参集し、英世の歓迎会を開きました。英世はその人たちに謝辞をのべ、9月10日に講演を行いました。そのときに「目的・正直・忍耐」の言葉を残し、「忍耐」「公德」の書を揮毫しました。

(野口英世博士のふるさとづくり推進委員会)

